

第2回粕屋町まち・ひと・しごと創生会議要録

日時：11月7日（木）14:00～15:30

場所：粕屋町役場 3階 31 会議室

<p>次 第</p>	<p>1. 開会 2. 会長あいさつ 3. 協議事項 (1) 第1回推進会議における補足説明 (2) 人口ビジョンの改定（案）について (3) 第2期総合戦略の施策テーマ（案）について (4) 住民アンケート等の実施について 4. 事務連絡 第3回粕屋町まち・ひと・しごと創生会議 令和元年11月28日（木）午後2時～ 粕屋町役場 3階 31 会議室 5. 閉会</p>
<p>会議要録</p>	
<p>2. 会長あいさつ</p>	<p>○協議事項が4つある、限られた時間でありご協力を宜しく願いたい。</p>
<p>3. 協議事項 (1) 第1回推進会議における補足説明</p>	<p>(事務局より協議事項(1)の説明後意見交換) 【事務局】 ○地域資源を活かした6次産業化による商品開発の取組みについての質問について、回答させていただく。商品開発については、商工会を中心に、県の補助金をもらいながら、かすやブランドとしてブロックリー羊羹、バラジャムなどの商品が出てきている。町の戦略としては、町としてのブランド認定を目指したが、検討の段階で中断している状況である。現在、検討を再開しており、第2期にはブランド認定にむけて取り組んでいく予定である。</p>
<p>(2) 人口ビジョンの改定（案）について</p>	<p>(事務局より協議事項(2)に関する資料説明後意見交換) (質疑) 【会長】 ○「めざすべき将来方向」は、戦略の議論の方向により変わってくるという理解でよろしいのか。 ⇒(事務局) その通りである。 【委員】 ○目指すべき人口規模について、人口62,000人という目標の意味は。減少する生産年齢人口に対し、年少人口を増やしバランスをとるなどの設定の根拠は</p>

	<p>あるのか。</p> <p>⇒（事務局）国の人口目標のように、町の目指す人口として設定している。粕屋町は人口が増えているという特殊な事情があり、現在も若い世代の人口は安定していることから、この人口を維持していくということを第 1 期から目標として考えている。</p> <p>【委員】</p> <p>○4ページの転入・転出人口の推移をみると2009年の転入人口が落ちているのは何か。</p> <p>⇒（事務局）明確な理由はわからないが、集合住宅の建築状況などの要因が影響していると思われる。なお、直近の状況としては、福岡都市圏の近隣の自治体の中で志免町、須恵町への人口移動が多く見られ、住宅地を求めての移動が進んでいる傾向がある。逆に飯塚市や篠栗町など福北ゆたか線沿線の自治体から転入してくる傾向がある。</p> <p>【委員】</p> <p>○転入・転出の理由は何が分析されているのか。</p> <p>⇒住民アンケートで粕屋町へ転入した理由について分析する予定であるが、昨今の町民意識調査では、居住年数の少ない回答者で、「程よい田舎」という点が魅力としてとらえられているところと、交通アクセスの環境の良さがあげられている。転出の理由については具体的な分析の予定はない。</p> <p>【委員】</p> <p>○須恵町などへ移動されるのは、戸建てを求めて転出される方が多いと思う。粕屋町は地価が高いと言われており、子どもが小さいうちは良いが、学校に入学する段階で市内に住みたいという部分もあると聞く。</p> <p>【会長】</p> <p>○福岡市で働く人が粕屋町へ住んで、子どもが小さいうちは粕屋町に住んでいるが、より良い教育環境や戸建てがほしいという理由で転出されるという傾向があるのが特徴である。</p> <p>○この転出を抑制する戦略を考える必要があると感じた。意見として、粕屋町に対する愛着が生まれて定着していくという視点や発想を盛り込めたら良いと思った。また、子育て応援や安全・安心の観点から言うと粕屋町の道路事情にも着目していく必要があるのではと思う。</p> <p>【委員】</p> <p>○この会議では、具体的な取組みを話し合う機会があるのか。</p> <p>⇒（事務局）施策案を事務局から出していきながら、会議で案に対する追加や修正の意見を出していく方向で進めてきたい。会議の意見をふまえ庁内で協議し、この会議でお示していきたい。</p>
--	---

	<p>【会長】 ○人口ビジョン案に基づいた施策テーマ案について意見し、会議の意見をふまえて計画素案を作っていくという流れである。</p>
<p>(3) 第2期総合戦略の施策テーマ(案)について</p>	<p>(事務局より協議事項(3)に関する資料説明後意見交換) (質疑)</p> <p>【会長】 ○5ページの国の新しい方向をふまえた粕屋町の取組みの追加の中で(4)の民間との協働については右側が空欄だがどうなのか。 ⇒(事務局) 施策全般を考えるにあたっては民間との協働は第1に考えて行くべき内容なので、これに特化した施策は入れていない。</p> <p>【委員】 ○SDGsの考え方として、福祉教育などが言われている中で高校と地域をつなぐ取組みをあげられているが、先日、福岡魁誠高校で認知症の方も安心して暮らせるまちづくりとして「ランとも」という全国的に行われているイベントを1年前から高校生と一緒に実施している。こうした福祉教育の取組みもこの戦略に入ってくるのではないかと思う。 ⇒福岡魁誠高校との連携は考えていきたいと思っている。具体的な提案を頂いたので検討していきたい。</p> <p>【委員】 ○子育て支援体制の強化は具体的にどのような点を強化するのか ⇒(事務局) 現在、考えているのはこども館を中心とした活動を強化していきたい。子ども貧困対策としてこども館での学習支援や夏休み中に高校生にきてもらうなどの施策を反映して強化していきたいと思っている。</p> <p>【委員】 ○福岡魁誠高校は地元の唯一の高校であり、出身者も多いのでおおいに利用していけたら良いと思う。子ども館でも集いの広場に高校生が実習にきて、赤ちゃんと接する機会があるのは良いことである。 ○子育て応援団のまーぶるで読み聞かせの取組みを行っているが、3歳のブックスタートまでの期間を切れることなくつなぐことが大事と思う。問題と考えているのは、親御さんは子どもが読めるから自分で読ませるという考えをもっている方がおり、本来は親が読み聞かせることが必要である。この考えを解していくには、草の根的な取組みが必要であり、読書ボランティアと各施設が連携していくことが大事になる。 ○粕屋町は町立、私立幼稚園・保育所など施設が多い。これらの施設とボランティアとの連携を子ども館を中心に進め、質の高い保育環境を感じさせる取り組みを、読み聞かせを通じて強化していければ良いと思っている。</p>

	<p>⇒（事務局）ご意見を参考に担当課に現在の取組み内容を確認し検討していきたい。</p> <p>【会長】</p> <p>○ボランティアに高校生などが参加する点は高校生の成長にもつながる点もあり面白いと思う。</p> <p>【委員】</p> <p>○子ども館で実施している親育ち講座に参加しており、非常に良い。昔だったら周りで教えてくれることだと思うが、粕屋町は外から来られた母親も多く孤立してしまうので、役に立っている。とても良い講座なので定員枠を増やすことや講習・健診での情報提供などをしてもらったら良いと思う。</p> <p>○出生率を増やすためには、一人の女性が産むのは限られるので、出会いについても考えていくことが必要ではないか。</p> <p>⇒（事務局）親育ち講座については講座の評判がフィードバックできる仕組みがあればと思っている。出会いの促進は他自治体の婚活事業等でなかなか成果が上がっていないと聞かため、具体的な取組みについては難しいと考えている。</p> <p>【委員】</p> <p>○社会教育の方で寺子屋事業の話がでていいる。地域的に子ども館に行けない子どもに対し小学校が連携して事業に取り組み、高校生が子ども館で学習支援をする、こうした流れができ、切れ目のない方策になれば良いのでは。</p> <p>○SDGs として地域の将来を支える人材の育成の対象を高校生とすると、高校生が粕屋町に住んで働けるかという点で創業支援と関わってくると思うので、トータルな流れのある方策があれば良いかと思う。</p> <p>【委員】</p> <p>○駕与丁公園に、女性や若いカップルなどが景観を楽しめる喫茶店など、交流の場ができれば公園に訪れる人が増えてくるので良いと思う。</p> <p>⇒（事務局）検討している材料としては今後も上がってくると思うが、規制などがあるので合わせて検討していきたい。</p>
<p>（４）住民アンケート等の実施について</p>	<p>（事務局より協議事項（４）に関する資料説明後意見交換）</p> <p>（質疑）</p> <p>【委員】</p> <p>○回答率はどの程度を見込んでいるのか。</p> <p>⇒（事務局）30～40%であれば近隣自治体の中では平均かと考えている。</p> <p>【委員】</p> <p>○紙ベースのアンケートだと若い人の回答は増えない。メールとかネットで回答できると回答してもらえるのではないか。</p> <p>⇒（事務局）福岡県の電子システム等を活用する方法はあるが、使いづらいと</p>

	いう点があり、今の所、御礼状を発送して 40%近いところまで回収を上げて行きたいと思っている。
--	---